駒中だより

こ　こころざしの高い生徒
ま　学び続ける生徒
が　我慢できる生徒
た　他を思いやる生徒

台東区立駒形中学校　令和５年５月８日発行

謙虚な心・・・

副校長　　椿　一夫

「早いもので令和５年度が始まってからもう１ケ月がたちました。」と、昨年度も同じようなご挨拶をさせていただいたように思います。今年度は多くの教職員が入れ替わりました。改めまして今年度もよろしくお願い致します。

今年度の最初のご挨拶も、少々私事ではありますが、お付き合いください。

さて、私は直接生徒との関わりをもっていたころは、ずっとバスケットボール部の顧問をさせていただいていました。きっかけは、養護学校（現在は特別支援学校）の高等部の生徒の余暇活動の充実を考えるところからでした。中学校に着任してからもバスケットボール部を任されることになり、どうしたものかといろいろ考えました。自分のチームばかり見ていてもらちが明かないと、いろいろな学校に合同練習や練習試合の名目でお邪魔をしました。トレーニングの方法や戦術、審判技術等多くのことを学ばせてもらいました。そのような中で貴重な出会いがたくさんありました。特に印象深く、今でも時々お話をさせていただいている方がいます。その方の許可をいただいているわけではないので、ここではMさんとして紹介させていただきます。

Mさんは、コーチとしては高校全国ランキング５位のチームを育てたり、都大会常連の中学生のチームを指導したりと、数えきれないほどの実績を残されています。また、審判員としても多くの功績を残されており、Mさんを師匠にもち今も活躍している現役審判員もたくさんいます。何より、昭和３９年（1964 年）の東京オリンピックのバスケットボール競技において、国際審判マネージャーとして手腕を振るい、大会運営に尽力されました。

しかしながら、Mさんとお会いする度に感じるのは、勉強熱心でとても謙虚な方だということです。経験の及ばない私にさえ質問をぶつけてくるのです。それは選手との接し方であったり、戦術であったりと様々でした。

謙虚な心とは、決して自分を卑下するものではない。まだまだ自分にも伸びしろがあると自身を鼓舞する心と言い換えてもいいと思います。自分にも言い聞かせつつ、中学生にも伝えたい心構えです。

「こ・ま・が・た」の「ま」：学び続ける生徒。謙虚な心で実践できると、どこかでものすごい飛躍をするのが中学生です。駒中生一人ひとりが、飛躍していってほしいと思っています。

＜令和５年度の体制＞

改めまして今年度の体制を紹介いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

（ウェブページ版は割愛させていただきます。）

＜５月・６月の予定＞※追加・変更の場合もあります。

５月（皐月）	６月（水無月）
１日（月）安全指導日 ２日（火）専門委員会 ３日（水）憲法記念日 ４日（木）みどりの日 ５日（金）こどもの日 ８日（月）眼科検診（全学年） ９日（火）身体計測 10 日（水）台教研 11 日（木）～12 日（金） 第１回定期考査（１年は 11 日のみ） 12 日（金）１年 オリエンテーリング 17 日（水）避難訓練 18 日（木）２・３年 内科検診 22 日（月）１年 内科検診 ３年 都学力向上調査 29 日（月）３年 修学旅行(～31 日) 29 日（月）１年 家庭訪問 （～6/8 日）	１日（木）専門委員会 ２年 都学力向上調査（～２日） ２日（金）英語検定 ５日（月）２年 霧ヶ峰移動教室（～８日） ７日（水）開校記念日（通常授業） 台教研 12 日（月）・19 日（月）１年 都学力向上調査 14 日（水）学校公開週間（～16 日） 14 日（水）１・２年 リサイクル講演会 （環境漫才） 26 日（月）第２回定期考査（～28 日）